



II. 歯科衛生士がかかわる子どもの定期的支援 — 継続して患者さんに来院してもらうために —

おおの小児矯正歯科 小田 裕子

略 歴

1999年 九州歯科大学附属歯科衛生学院卒業
1999年 医療法人 おおの小児矯正歯科（下関市）勤務
2000年 ネパール歯科医療協会14次隊参加
2003年 ネパール歯科医療協会17次隊参加
現在に至る

本大会のテーマである“子どもたちの健全な咬合育成を目指して”にもあるように、小児歯科の目的は、健全な機能を持つ総合咀嚼器官を育むことです。

そのためには、う蝕ばかりでなく、その他の歯科疾患に関することも、“予防から歯科的成育へ”幅広い指導や支援を定期的に行なうことが必要です。そして、経年的に患者さんと関わり資料をとって客観的に評価することは、信頼関係の形成や受療行動の強化につながります。また、継続来院のためには、患者さんを全人的に把握するように努めライフステージに沿った最小限で最大限の効果をあげる医療プランを立案し、繰り返し支援する必要があります。

そこで今回、歯科衛生士の仕事に視点をあて当医院で行なっている包括的歯科医療に関する定期的支援の実際について述べます。

発表構成

I はじめに

“こんな患者さんが来たらどうする？”

II 子どもの定期的支援

1. 子どもの包括歯科医療
2. おおの小児矯正歯科の定期健診

III 事例

1. 事例の紹介
2. 事例のまとめ

IV まとめ

小児歯科の今後のあり方